



指揮 浦優介

関西学院大学商学部を卒業後、くらしき作陽大学音楽学部にて指揮を学ぶ。指揮を中井章徳、高谷光信、ニコライ・スーカッチ(チェルニーゴフフィル音楽監督)、ユーリイ・ジャチェンコ、ピアノを重川逸呼、金子葉子、イリーナ・デニセンコ、マリヤ・リンニク、マリーナ・ウラジミロフナ、ホルンを中西順、アレクサンドル・オブチャールの各氏に師事する。大学時代、関西学院交響楽団に学生指揮者として3年間所属し、中井章徳氏、大河内雅彦氏、横島勝人氏のアシスタントコンダクターを務める。2013～2016年「おりなす八女音楽塾」指揮マスタークラスを修了し、大山平一郎氏の指導を受ける。2016～2019年 ウクライナ国際指揮マスタークラスを修了する。同マスタークラスにおいて、スラブ音楽奨励賞(2016年)、優秀指揮者賞(2019年)を受賞し、修了演奏会に選拔され指揮者を務め、好評を博す。2018～2019年 名古屋芸術大学主催

の高谷光信指揮マスタークラスを受講する。2019年ルーマニア国立ブカレスト国際音楽大学主催の国際指揮マスタークラスを修了し、ヨルマ・パヌラ氏、ジン・ワン氏の指導を受ける。2021年 公益財団法人山田貞夫音楽財団指揮者オーディションにて、山田貞夫音楽賞及び特選を受賞。これまでにセントラル愛知交響楽団、瀬戸フィルハーモニー交響楽団をはじめ多くの演奏団体を指揮する。また市民オーケストラ・吹奏楽などで客演を重ねている。現在、ウクライナ国立コトリヤレフスキー記念ハリコフ芸術大学指揮科に在学し研鑽を積んでいる。

管弦楽 セントラル愛知交響楽団



1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。岩倉市との音楽文化普及事業委託契約による事業補助を受け1997年に現名称に改名。2009年一般社団法人となり、2021年4月に愛知県より認定を受け公益社団法人となる。2019年4月から常任指揮者に名古屋出身の角田鋼亮が就任。名誉音楽監督にレオシュ・スワロフスキー、桂冠指揮者に小松長生、特別客演指揮者に松尾葉子、首席客演指揮者に齊藤一郎、正指揮者に古谷誠一を擁し活動を行う。2022年度はアソシエイトコンダクターとして阿部未来、松川智哉を迎える。定期演奏会、コンチェルトシリーズ、「第九」演奏会等の自主公演の他、バレエ、オペラ、ミュージカル等の依頼公演にも数多く出演。独自の構成によるプログラム、幅広いレパートリーを生かした学校公演、演奏者と聴衆の距離を縮めるような室内楽公演にも積極的に取り組んでいる。海外(2007年中国・2009年タイ・2017年韓国)でも公演し成功を収める。2022年度からは「超!有名曲シリーズ」を含む新たなシリーズをスタートし、2023年の40周年に向け意欲的な試みを企画している。2015年半田市と音楽文化振興の協定、2019年一般財団法人稲沢市文化振興財団とも協定を締結。1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋市芸術奨励賞」、2007年「第2回名古屋音楽ペンクラブ賞」受賞。

セントラル愛知交響楽団

20th 岩倉ポップス コンサート

2022年 **6月12日(日)** 開場 /13:30 開演 /14:00
岩倉市総合体育文化センター 多目的ホール

主催：岩倉市・岩倉市教育委員会

プログラム

第1部～往年の映画音楽～

ミッション:インポッシブル

マイ・フェア・レディメドレー

オズの魔法使いより“虹の彼方に”

サウンド・オブ・ミュージックメドレー

ウエスト・サイド・ストーリーセレクション

第2部～夏を感じる名曲集～

魔女の宅急便より

海に見える街・旅立ち・晴れた日に

Summer

雨に濡れても

少年時代

サザンオールスターズメドレー

プログラムノート

ミッション:インポッシブル

1996年に第1作が公開され、現在でも続編が制作されている映画「ミッション:インポッシブル」。トム・クルーズ演じるスパイのイーサン・ハントが、成功困難な任務に挑んでゆく内容と、華麗なアクションシーンが魅力的な映画です。テーマ曲の“ミッション:インポッシブル”はスパイを連想させるような緊張感を感じさせつつも、オープニングを飾るのにふさわしい壮大な曲となっています。

マイ・フェア・レディメドレー

オードリー・ヘプバーン主演の映画「マイ・フェア・レディ」。元々はミュージカル作品でしたが、1964年に実写映画として公開され、大ヒットしました。労働者階級が根強く残る時代のイギリスを舞台に、言語学者の男性がオードリー・ヘプバーン演じる身分の低い花売りの女性・イライザを、教養のある女性に育てようと奮闘する物語です。今回は劇中で使用された4曲をメドレーで演奏します。

オズの魔法使いより“虹の彼方に”

「オズの魔法使い」は児童文学小説が原作の映画。魔法の国へ迷い込んでしまった主人公のドロシーが、個性的な仲間たちと旅をする物語です。“虹の彼方に”は、劇中で主人公のドロシーによって歌われており、「虹の彼方にあるもっと理想的な場所へ行ってみよう」という心情を歌っています。ポピュラー音楽の定番として様々なミュージシャンにカバーされており、まさに映画音楽の粋を越えて多くの人に愛される曲と言えるでしょう。

サウンド・オブ・ミュージック・メドレー

「サウンド・オブ・ミュージック」は1965年にアメリカで製作されたミュージカル映画。修道女見習いの主人公マリアが、軍人であるトラップ大佐の家に家庭教師として雇われ、その家の子供たちと音楽で心を通わせていく様子が描かれています。ミュージカル映画ということもあり劇中で流れる曲はどれも印象的ですが、中でも“ドレミの歌”や“私のお気に入り”などは、映画を見たことのない人でも一度は耳にしたことがあるのではないのでしょうか。

ウエスト・サイド・ストーリーセレクション

1950年代のニューヨークを舞台とし、ギャング団の抗争に巻き込まれる男女の悲恋を描いた映画「ウエスト・サイド・ストーリー」。敵対している2つのグループの男女が恋に落ちるという内容から、アメリカ版“ロミオとジュリエット”と呼ばれることも。昨年にはスティーブン・スピルバーグ監督によるリメイク版が公開され、大きな話題となりました。今回は劇中で使用された7曲をメドレーでお届けします。

魔女の宅急便より

“海に見える街”、“旅立ち”、“晴れた日に”

スタジオジブリの作品は夏に新作が公開されることが多く、過去の作品も夏休みの時期にテレビで放送されています。「魔女の宅急便」も約2年に1回のペースで放送されており、今まで放送した時期も7月が多いようです。そういった理由から、今回は「魔女の宅急便」の劇中で流れる3曲を選曲しました。特に“海に見える街”はゆったりしたメロディで、さわやかな夏の始まりを感じさせます。

Summer

久石譲作曲の楽曲。ビートたけし主演の映画「菊次郎の夏」のメインテーマとして作曲されました。テレビ番組やCMなどでもBGMとして流れることが多いため、映画を見たことのない人でも一度は耳にしたことがあるのではないのでしょうか。原曲はピアノをメインとした編成で演奏されることが多いですが、今回はオーケストラバージョンで演奏します。

雨に濡れても

“雨に濡れても”は、西部劇映画「明日に向かって撃て」の挿入歌。“虹の彼方に”と同じく、様々なミュージシャンにカバーされました。この曲は雨を自分に降りかかる憂鬱な出来事に例えており、「何も心配ない、もうすぐ幸せがやってくる」という思いが歌詞になっています。雨の日は憂鬱な気分になることもあるかと思いますが、爽やかな曲調で雨の景色を楽しめる。そんな曲です。

少年時代

井上陽水の代表曲。漫画「少年時代」の実写映画版の主題歌として、作者であり井上陽水の友人でもある藤子不二雄Aの依頼で作曲されました。田舎で過ごした夏の思い出を振り返っている様子を歌詞にしており、どこか懐かしい雰囲気漂っている曲となっています。それをさらに際立たせるトランペットのソロにもご注目ください。

サザンオールスターズメドレー

1978年のデビュー以来、40年以上に渡って活躍しているサザンオールスターズ。“夏”をイメージさせるような楽曲を多く世に送り出していることから、今年のポップスコンサートでは彼らの曲は外せませんでした。今回はそんな多くの名曲の中から、真夏の果実や勝手にシンドバッドなど、バラードからアップテンポで盛り上がる曲まで7曲をメドレーで演奏します。ぜひお楽しみください！